

中央区から講師依頼があり、残暑の中、出かけてきました。  
 都心回帰現象で、中央区は毎年人口が増加していますが、一人当たりのごみ量は、みごとに毎年右肩下がりです。H32年度までに21年度比で22%減量という目標を掲げていて、町会の皆さんは、集団回収をがんばっていらつしやると伺いました。園芸用の土も、区内の学校を拠点に毎週回収し、再生してイベントなどで無料配布しているそうです。  
 東京のど真ん中でも、小さな町でも、日本中で日々、ごみ減量の努力が続けられているんだなあ、と今さらながら、感じた一日でした。

会員拡大キャンペーンにご協力を！

活動仲間や新しく議員になられた方に、ごみかんへの入会をお勧めいただけませんか？  
 会員になっていただいた場合、ご紹介者にご希望の講演録を2冊プレゼントしています。

市民ごみ大学セミナー  
 今年は平日開催です！



**10月19日(金)** 13時半～16時半

国分寺労政会館 第3会議室

## 規模縮小が進む ごみ焼却施設

～東京多摩地域での  
 建て替え計画～

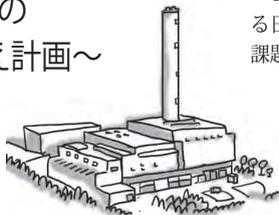
かつては、焼却能力に余力を持たせた上、予備炉を併設するのが通常となっていたごみ焼却施設。近年はごみ量の減少に伴い、施設計画は規模縮小が前提になってきました。

10月から試験運転が始まるふじみ衛生組合と、これから着工する日野市から担当者にお出でいただき、計画内容やこれまでの経過、課題などについてお話いただけます。ふるってご参加ください！

参加費(資料代)

会員・学生 500円

一般 1000円



発表者 \*ふじみ衛生組合新施設 建設準備室長  
 荻原正樹さん

\*日野市環境共生部 クリーンセンター長  
 土方一志さん

理穂さんの著書が発行されました！

## 市民がつくった電力会社

ドイツ・シェーナウの  
 草の根エネルギー革命

大月書店 定価(本体1,700円+税)



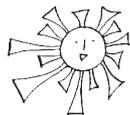
“送電線？ 買えばいいじゃない！ チェルノブイリの危機が親達を動かした。小さな街の脱原発運動から、電力の地域独占をやぶり、ドイツ有数の自然エネルギー電力会社に。フクシマ以後の日本の未来を照らす希望のストーリー” (オビより)

アマゾンで購入してさっそく読んでみました。詳細な運動の道のりや、肉声が聞こえてくるようなインタビュー記事にぐいぐいと引き込まれ、市民参加こそ脱原発への道、と勇気をもらいました。

付録に「原子力に反対する100個の十分な理由」の抄訳も。ごみかんイチョシ!の1冊です。

年会費＝個人会員 3,000円 団体会員 6,000円  
 賛助会員 10,000円(一口)

記事を転載する場合は  
 ご連絡ください



NPO法人

## ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012 東京都国分寺市本町 2-19-9-7

TEL&FAX 042-328-6621 月・金(除く祝日)13～17時

Eメール gomikan@mtf.biglobe.ne.jp

http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/

郵便振替 口座名：ごみ・環境ビジョン21 口座番号：00120-1-541089

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)を必ずご記入ください  
 また、変更があった場合はお知らせください

### \*いの\*の編集後記

最近、23区に住んでいた娘が、実家のある小金井市に引っ越してきました。

生まれて間もないあかんぼを抱えているので、早めに準備をするように言い、引越しひと月くらい前に手伝いに行こうとしたら、「小金井市のごみの分別表をコピーして持ってきてほしい」と。「こっちにきてからでいいじゃない」というと、「容器包装プラ以外は、生ごみ、プラスチック製品、革製品などをレジ袋に入れてお気楽に可燃ごみの日に出していたけれど、分別と減量が厳しくて有料指定袋に入れないと出せない小金井で暮らすにあたって、今から分別と減量の特訓をするから！」だって。部屋中ごみだらけだった娘も、主婦になると変わるもんだわ。